

LibreOffice ことはじめ

Ubuntu Japanese Team
特定非営利活動法人 OpenOffice.org 日本ユーザー会
LibreOffice 翻訳

あわしろいくや



自己紹介

- LibreOffice の日本語訳の権限持ってます
- LibreOffice 関連の何かを書く予定。媒体すら未定
- ウチは完全に LibreOffice に移行しました
- 最近では VirtualBox で遊んでます
 - Software Design 買ってね!
- AMD Fusion マザー買いました

最初に言っておきますが

- Ubuntu ユーザは、原則としてほぼすべて LibreOffice ユーザになります
- 選択肢はありません
- 今のところ OOo の PPA での提供もありません
- OOo は移行パッケージのみになります
- オフィシャルなバイナリは使えると思いますが、そこまでして OOo が使いたいのですかと問いたいところです

LibreOffice とは

- OpenOffice.org(OOo) から派生したオフィススイート
- The Document Foundation(TDF) がリリース
 - 名前に反して (?) まだ Foundation にはなっていません
- OOo とは大なり小なり違いがある
- オープンソースでマルチプラットフォームなのは同じ
- ファイルフォーマット (ODF) も共通
- 最初から多くの拡張機能が同梱

簡単な歴史①

- 1999年 Sun が StarOffice の開発企業を買収
- 2000年 後に OOo となるソースコード公開
- 2002年 OOo 1.0 リリース
- 2009年 Oracle による Sun の買収を発表
- 2010年 Oracle による買収完了

簡単な歴史②

- 2010 年
 - 9/28 The Document Foundation と LibreOffice のリリースを発表
 - OOo のコミュニティメンバーで結成
 - OOo の商標の移譲を Oracle に求めてみたり
- 2011 年
 - 1/25 LibO 3.3.0 リリース
 - 2/23 LibO 3.3.1 リリース
 - 3/?? LibO 3.3.2 リリース

開発体制①

- かなり普通の体制になった
- ソースコードは git で管理
- 契約書にサインしなくても commit される
- master と libreoffice-3-3 ブランチと libreoffice-3-3-2 ブランチ
 - ブランチごとに commit のルールが異なる
- 毎月リリース、半年に 1 度メジャーバージョンアップを目指す
 - すなわちタイムラインリリース
- 今は不具合修正や不要なコードの除去が中心

開発体制②

- OOOのコミュニティメンバーの多くがTDFに移行
- Red Hat, Novell, Ubuntu, Debian etc.
- OOOのソースコードを取り込んでいる
- freedesktop.orgのリソースを使っている

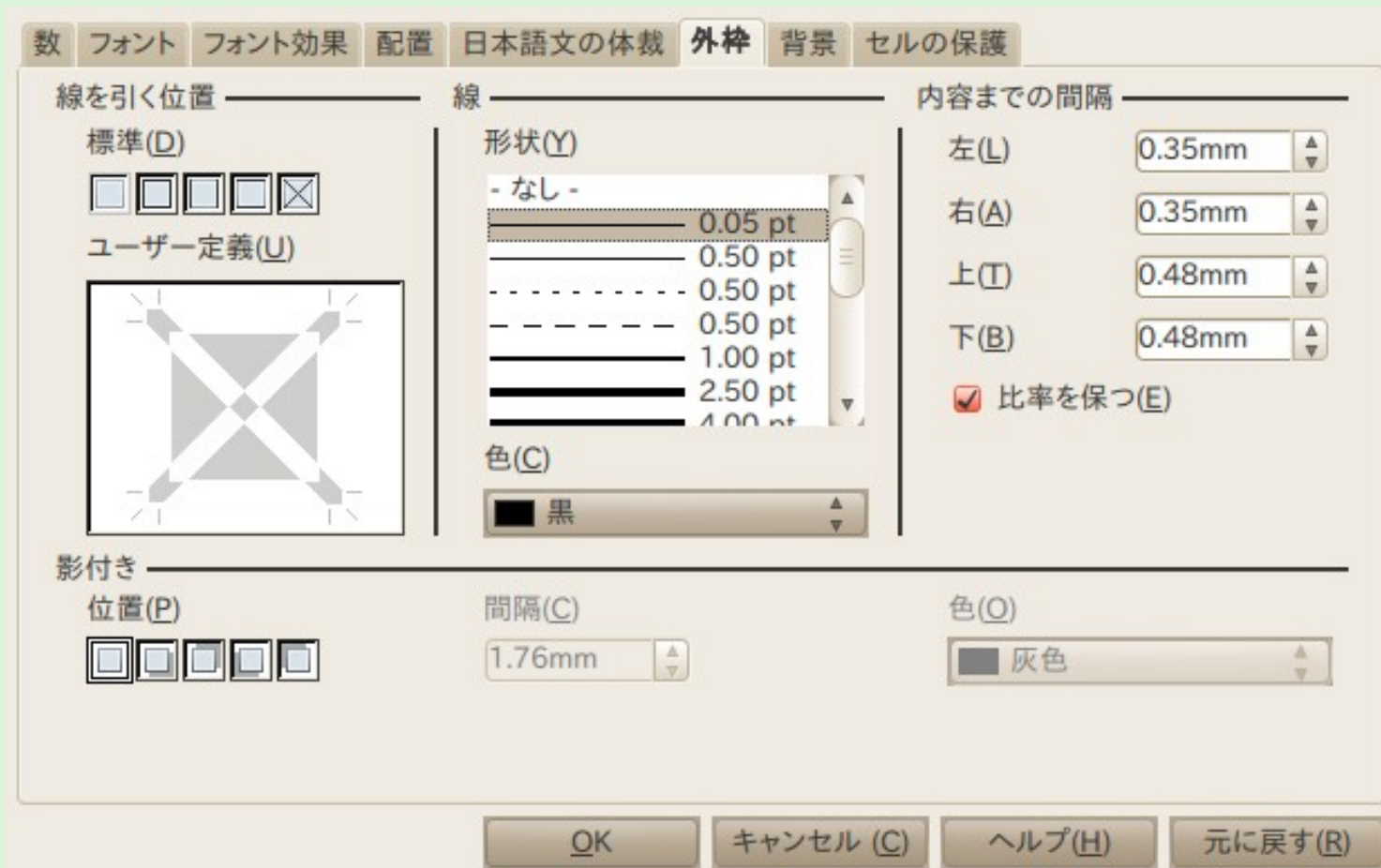
日本人開発者

- Kohei Yoshida さん
 - Novell 社員
 - Calc ハッカー
- Takeshi Abe さん
 - 開発、翻訳など多数
 - 一番多くの情報を持っている
- KUROSAWA, Takeshi さん
 - SVG 関連の多くの修正

リリースプラン

- 毎月リリースを目指す
- 3月と9月にメジャーバージョンアップ、あとはマイナーバージョンアップ
 - 最初のマイナーバージョンアップは、メジャーバージョンアップリリースの3週間後を予定
 - 今のところは、予定よりも遅れながらもできている
 - Ubuntu や GNOME を意識か!?
- 3.4.0 は 5月2日リリース予定
- 3.4.1 は 5月23日リリース予定
- 3.5.0 は今のところ具体的なスケジュールなし

〇〇〇との違い - 機能編 - ①



- 点線が使える

OOoとの違い - 機能編 - ②

タイトルページを作成

既存のページをタイトルページに変換(A)

新規タイトルページを挿入(B)

タイトルページ数(D) ページ

タイトルページを置く

文書の開始(E)

ページ(F)

ページの番号付け

タイトルページの後でページ番号をリセット(G)

ページ番号(I)

最初のタイトルページのページ番号を設定(J)

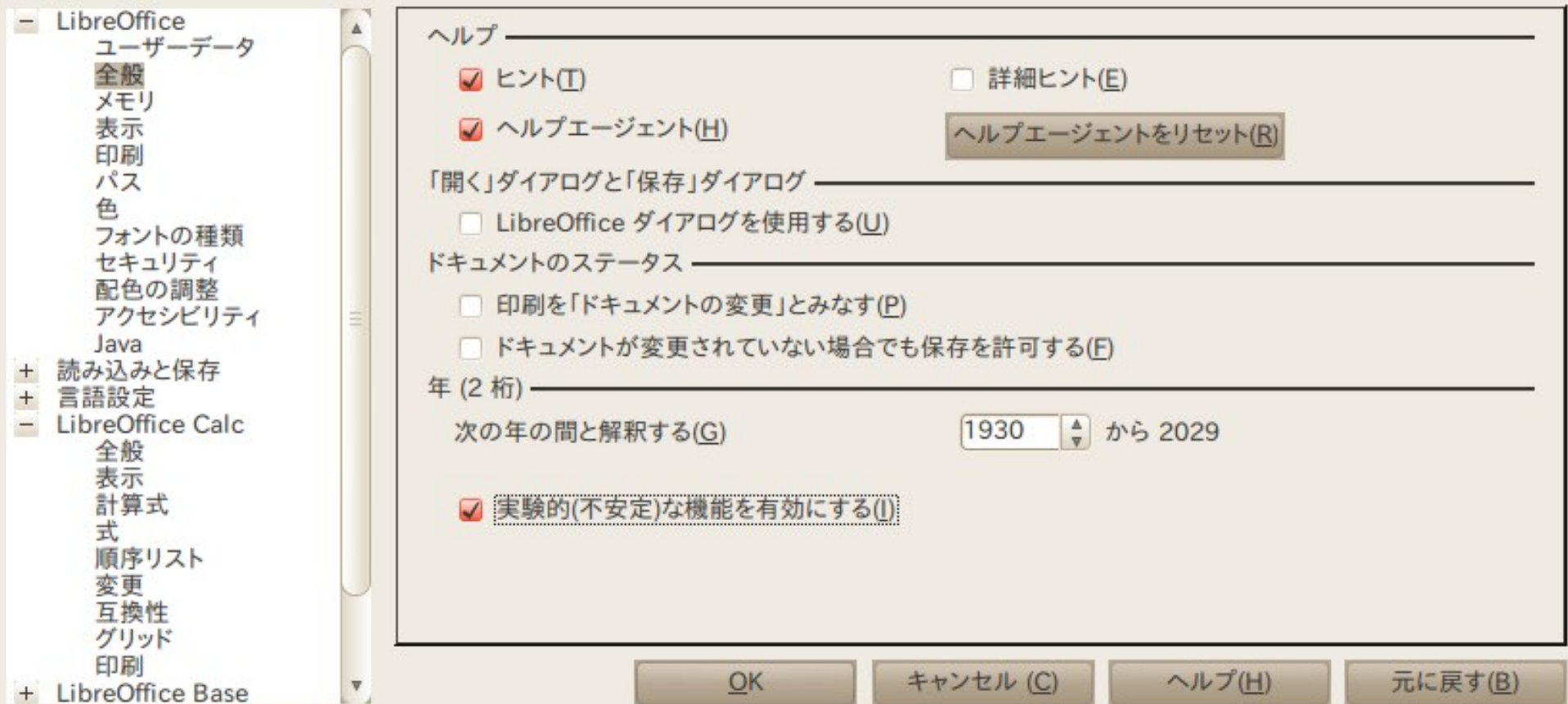
ページ番号(K)

ページのプロパティを編集

最初のページ

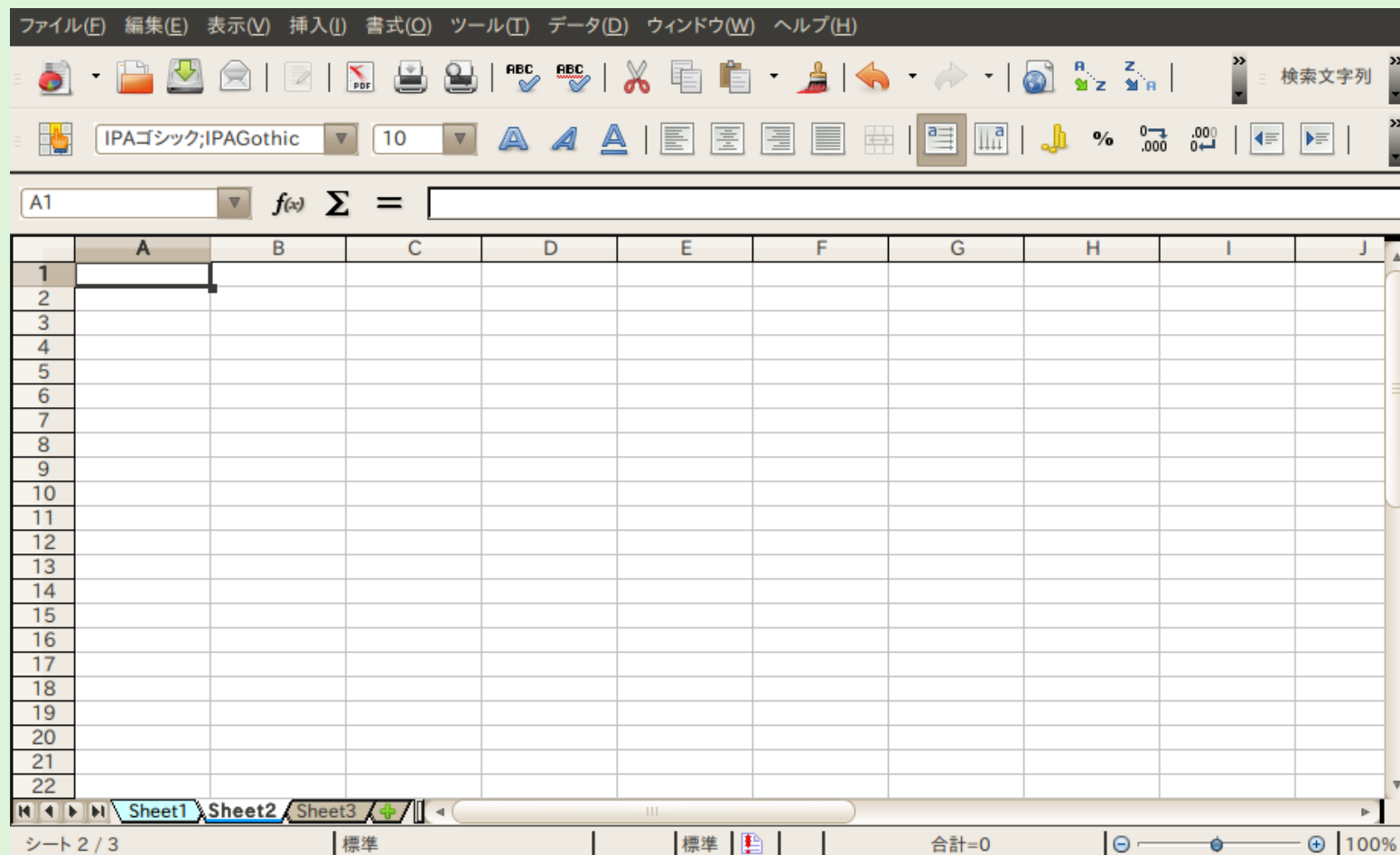
- Writer に [最初のページ] を追加

〇〇〇との違い - 機能編 - ③



- 実験的な機能を有効にする機能

〇〇〇との違い - 機能編 - ④



- タブの色分け

OOo との違い - 配布形態編 -

- Ubuntu で使うだけなら関係ないけど!
- <http://ja.libreoffice.org/download/> にアクセスすると、自分がダウンロードするべきインストーラが自動的に選択される
 - Windows だと .exe、Ubuntu だと deb とか
- Windows 版はすべての言語を統一
 - ヘルプは個別

LibO の日本のコミュニティ

- まとまったグループはなく、ML に集まっている人たちで構成
 - コアなメンバーは、だいたいどこかで見たことがある人ばかり
- 情報交換と翻訳が主体
 - ただし、現状メニューやヘルプの翻訳はできない
- 人材不足甚だしい
 - 翻訳は、現状は大丈夫
 - Web サイトの更新
 - 品質保証 (QA)

懸念事項①

- 開発者の多くが Novell の社員
 - 15 人 (2010/11 現在)
 - Red Hat ですら 2 人
 - 皆超人的な働きぶりを発揮
 - 開発者を増やし、相対的に負担を軽減する必要あり

懸念事項②

- サポートコストが上がる可能性
 - タイムラインリリースは、不具合修正を先延ばしすることが多い
 - もちろん Ubuntu もそう
 - しかも、LibO は毎月リリースすると言ってる
 - 品質保証 (QA) テストがすごく大変
 - このバージョンにはこういう魅力的な新機能があるけど、この不具合があって使えない、ということがあり得る
 - 顧客に提供する場合、どのバージョンを使ってもらうかジャッジする必要がある

懸念事項③

- いざとなったら、自分たちでバイナリをビルドした方がいいかも
 - 環境用意するのがすごく大変
 - ただし、もちろんこれも多大なコストがかかる
- ひとまずは、OOoのほうがサポートしやすい
 - OOoのリリースや翻訳を手伝うのも手
- LibOの場合は、積極的に開発やテストに参加することが結局のところ一番ローコストになりかねない
 - 画期的かも

Ubuntu の OOo はどうだった？

- 素の OOo ではなく、Novell がパッチで配布していた ooo-build を適用していた
 - Novell は Windows 版をサポートつけて売ってた
 - ooo-build は LibO に取り込まれ、発展的に解消
- これは、OOo に盛り込まれない機能や不具合修正をしたものだった
- 多くの Linux ディストリビューションでは、これを採用していた
 - Red Hat は違うけど

Canonical と LibO

- もともと ooo-build を使用していた
- TDF 発足のプレスリリースで、Mark 氏が賛同を表明していた
 - 将来のリリースで LibO に移行することを明言
- Canonical で選任の担当者を募集
 - 2010/11/11
- Bjoern Michaelsen さんを雇用
 - 2011/2/1
 - 前職は Sun/Oracle のハンブルグチーム
 - 猛烈に働いてる

PPA

- <https://launchpad.net/~libreoffice/+archive/ppa>
- 10.10 用はサクッとインストールできた(はず)
- 10.04 用は
 - `sudo add-apt-repository ppa:libreoffice/ppa`
 - `sudo apt-get update`
 - `sudo apt-get install libreoffice-common
libreoffice libreoffice-gtk libreoffice-l10n-ja
libreoffice-help-ja`

更なる情報①

- LibreOffice の日本語ページ
 - <http://ja.libreoffice.org/>
- メーリングリスト
 - <http://ja.libreoffice.org/get-help/mailling-lists/>
- フォーラム
 - <http://ja.libreofficeforum.org/forum>

更なる情報②

- 新春特別企画 2011年のOpenOffice.org/LibreOffice
 - <http://gihyo.jp/lifestyle/column/newyear/2011/openoffice-prospect>
- すぐわかる OpenOffice.org 3
 - <http://asciimw.jp/search/isbn/978-4-04-868950-2>

まとめ

- いままでありがとう OOo! 君のことは忘れないよ!
 - 移行用のダミーパッケージがあるうちは
- まだまだ知名度が低いので、宣伝をお願い!
- ひとまず ML に入ってほしい!
- 懐に余裕がある方は、TDF に寄付をお願い!